

科目名	特別実験・演習			担当教員	特別研究指導教員		
学年	情報制御専攻1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	4
分野	専門	授業形式	実験・演習	科目番号	08AII_40020	単位区別	学修単位
学習目標	<p>問題点を解決できる能力を養う。</p> <p>技術の変遷を予測できる能力を養う。</p> <p>学んだ知識を他の分野に応用できる。</p> <p>技術が社会に与える影響を考察できる。</p> <p>情報機器を活用して文書作成ができる能力を養う。</p>						
進め方	特別研究指導教員のもとで、特別研究を進める上で必要となる基礎技術を習得し、特別研究の時間軸的位置づけ、技術的位置づけ、社会的な位置づけを明らかにする報告書をまとめる。						
履修要件							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	<p>1．特別研究指導教員のもと、専門技術に対する自己学習や実験作業を行い、その結果を特別研究論文の一部としてまとめる。</p> <p>2．特別研究指導教員のもと、特別研究の基礎となる専門技術の情報を収集し、特別研究の基礎となる専門技術の歴史と現状を明らかにする内容を含む報告書を作成する。</p> <p>3．特別研究指導教員のもと、特別研究の基礎となる専門技術を学習し、特別研究の基礎となる専門技術および、その基礎専門技術と特別研究で用いられる技術の関係を明らかにする内容を含む報告書を作成する。その際、報告書の作成には以下の点に留意すること。</p> <p>（1）報告書には、特別研究で用いられる技術がどのように社会に影響を与えるかを考察している章を含めること。</p> <p>（2）ワープロを用いること。</p> <p>（3）図、表を含めること。</p> <p>（4）数式を含めること。</p> <p>（5）作図ツール（表計算ソフトの作図機能など）を用いること。</p>			<p>問題点を解決できる能力を養う。 E5:1-2</p> <p>技術の変遷を予測できる能力を養う。 D4:1-2</p> <p>学んだ知識を他の分野に応用でき、かつ、技術が社会に与える影響を考察できる。 D3:1-4</p> <p>情報機器を活用して文書作成ができる能力を養う。 C3:1-4</p>			
評価方法	取り組み状況と報告書を総合的に判断して評価する。						
関連科目	特別研究の研究テーマごとに異なる。						
教材	各特別研究の指導教員が個別に用意する。						
備考	特になし						